

# 第18回 地盤技術講習会

## 能登半島地震の被害と現状 被害状況から見える地震の特徴と液状化特性

主催：(一社)静岡県地質調査業協会  
後援：(一社)中部地質調査業協会

日時：令和6年7月5日(金)

13:30～17:20

受付開始 13:00

場所：ペガサート

6F(プレゼンルーム+演習室)

静岡市葵区御幸町 3-21

対面形式

CPD：3.5(当協会が発行)

参加費：無料

<申し込み方法>

締切日：令和6年6月28日

定員：150名(対面)

申込先：別紙にてFAXまたはメール

FAX：054-246-8011

Email：info@s-geo.com

所属、氏名および連絡先を必ずご明記ください。先着順となりますので、早めのお申し込みをお願いいたします。

令和6年元日に最大震度7の巨大地震が能登半島を襲いました。地震後に現地調査を行った防災工学が専門の二人の先生をお招きして、能登半島地震の被害の特徴や液状化の特性を詳しく解説して頂きます。南海トラフ地震が迫る本県の防災対策を考える上でも貴重なご講演となりますので、奮ってご参加ください。

<プログラム>

13:30 ~ 13:40

開会挨拶

(一社)静岡県地質調査業協会会長 松浦好樹

13:40 ~ 15:10

令和6年1月1日能登半島地震の被害状況とその特徴

金沢工業大学 特任教授 川村國夫

15:20 ~ 16:50

令和6年能登半島地震の液状化による地盤流動の特性と  
対策の視点 ~内灘町の現地調査からの知見~

大阪大学 名誉教授 常田賢一

16:50 ~ 17:20

フリーディスカッション

被災地を現地調査されたからこそ聞ける貴重なお話しが多いと思います。  
今回は質疑応答の時間を設け、先生方への質問を受け付けます。

